

NO. 42 (通算42)

絵・文・題字
渋谷 一夫

茶ノ木にウグイス

「茶の木にウグイス」
聞いたことがない。「梅にウグイス」でしょ。
いや、私にとっては、
どちらも正しいのです。
はて、どうしてかな。
我が家には、昔から道路路際
に垣根代わりに、約15mの
「茶の木並木」があった。そ
こが、冬から春にかけてのウ
グイスの遊び場だったのです。

昔は、3月も末になると、
あちこちから、ホーホケキョ、
ホーホケキョと、ウグイスの声
が聞こえてきたものだ。

「春告げ鳥」

この声を聞くと、誰もが

もう春かと心ウキウキしてく
る。だから、「春告げ鳥」とも
言っている。

早春賦という歌に、
時にあらずと
声も立てず……

とある。2月から3月初めは
まだ寒い。だから、鳴かないの
だ。

だが、ウグイスは、この寒い
冬の間に、もう南畑に来てい
るのだ。ただ、ホーホケキョと
鳴かないだけだ。

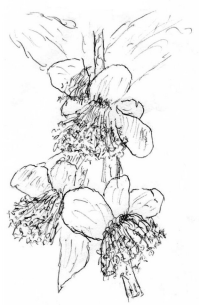
ウグイスは漂鳥

季節によって、日本国内で
住みかを変える鳥を漂鳥とい
う。ウグイスはその漂鳥で
春の終わり頃から夏秋にか

けて、山の方に移動して避暑
生活をし、冬になると暖かい
平野に下りてくるのだ。

ぜいたくな鳥だ。もう南畑に
も来ているはずだ。

11月から12月頃になると、
茶の木の花が満開になる。白
い5弁花の独特な花だ。昔、
我が家には長さ15m位の茶並
木があった。垣根代わりに、
道路沿いに作られていた。



5 弁花の茶の花

毎年、冬になると、可愛ら
しい小鳥が、この茶並木にやつ

てきて、チャッチャツと鳴いて
いた。だから、私たちは「チャッ
チャ」と呼んでいた。それがウ
グイスだったのだ。

地鳴きとさえずり

ウグイスは、普段は笹や
ぶの中でチャッチャツと鳴いて
いる。だから、「ヤブウグイス」
とも言う。また、鳴き方も
「笹鳴き」とか「地鳴き」と言っ
ている。

だが、春が来て恋の季節に
なると、野鳥も心が浮き浮
きするらしく、鳴き方も「さ
えずり」に変わる。「さえずり」
は、縄張り宣言だったり、雌
を呼ぶ求愛行動だったりす
る。ウグイスの「さえずり」は、
「ホーホケキョ」なのである。
3月も末になると繁殖期に
なる。

「ホーホケキョ」が連発される
のも、求愛・産卵・抱卵・子育
ての時期だからだ。

ウメにウグイス

ウグイスは益鳥だ。甲虫
類、チョウやガの幼虫・ハエ
などのこん虫類を食べて駆除
してくれる。

春は、梅に害虫がつきやす
い。それを狙って来る。正に
益鳥だ。だから、「梅に鶯」な
のだ。でも、私にとっては、「茶
の木に鶯」でもあるのだ。



ウグイス (チャッチャ)